



インスピレーションになろう

草加松原ロータリークラブ

2018-19 年度 国際ロータリーのテーマ インスピレーションになろう



第310回 例会 10月16日草加市文化会館

＊ ＊ 本日のプログラム ＊ ＊

開会点鐘	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
四つのテスト	SAA報告
お客様紹介	出席報告
会長挨拶	閉会点鐘

卓 話 来栖勝幸会員

10月9日の例会記録

◆ お客様

米山記念奨学増進委員長 宗像 英明様
米山奨学生 賈 鵬飛さん

◆ 会長あいさつ

森 勇一 会長

皆さんこんばんは、先週の金曜日から昨日まで、フィリピンのマリキーナイーストロータリークラブ、そしてセブ島によって参りました。そんなに暑い感じはしなかったもので、海に行ったりプールに入ったりしていたら夕方になって顔が真っ赤になったので、大丈夫かなと思っていたら今でも熱を持っている状態です。慌てて帰国してから仕事に影響するなと思って、夜に近くの大型ショッピングセンター“SM マート”という所がホテルの隣にある所に行きアロエのスキンクリーム、320gの容器に入った物を買って、フィリピンの現地のフィリピン人の店員さんが私の顔を見てこれを付けてと言うので、凄くヒヤッとして「これはいいな、アロエは火傷にいいのだ」と思い、日本に持って帰ってこようとしたら、セブの飛行場から帰って来る時に荷物検査でエックス線のトンネルみたいな所を通した時に、アロエの容器が写り向こうのフィリピン人のセキュリティの人が「これは何だ？」という事で「アロエクリームです」と英語で言ったら、「靴を開けろ」言われ、開けて出したら、「これは何だ」と再度聞かて、「アロエクリームで私の皮膚が火照って痛いので塗っている」と言ったら、没収すると言われ「何ですか？これメディカルですよ」と言ったけど、ダメと言われてその場で没収されてしまいました。

何も付けるものが無くなって、まだ火照っている状態です。

マリキーナイースト RC は、今回2回目という事で草加松原 RC から今回支援金としてどのくらい出せるかという事をお話するにあたって、向こうから明細をリクエストを用意してくれていました。確認してこれをお願いしますとのことなので、こちらも見ましたとのこととサインをして、本当であれば理事会に通していたのでその金額分の現金を持って行く予定だったのですが、あえて中身を見てからにしようとの事で、お金は置いてきませんでした。内容を確認後、振り込みます！とのことで帰ってきました。今回も向こうのクラブからもだいふ歓迎をして頂きました。ただマニラからマリキーナイースト RC まで行くのに凄く渋滞していて3時間半くらいかかりました。私が成田からマニラまで4時間で行ったので後30分で帰れるというくらい凄くて、行くのに3時間半で例会終わって帰って来るともう深夜になっていてとんでもなかった。あの国は交通事情を何とかした方がいいなど、あの国の発展は交通事情を何とかしなければ出来ないのではないかと私なりに考えました。それは私がやる事ではないけど、これは異常なくらい交通渋滞が激しい国です。私と一緒にいった瀬戸国際奉仕委員長がお出でになったので後ほど報告して頂きます。富永直前会長と飯山会長エレクトと一緒にいたが、今日例会があるので僕だけ先に帰国するという事で、1人で帰ってきました。本日も宜しくお願いします。

国際ロータリー第2770地区第9グループ



草 加 松 原 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

会 長：森 勇 一
幹 事：二階堂 祐 司

例会日：毎週火曜日 19:00～20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC: sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp



卓話 『私と日本』

米山奨学生 賈 鵬飛さん

皆様、こんばんは。米山奨学生の賈鵬飛(カ ホウヒ)と申します。本日は貴重な卓話の機会をご提供いただきまして、誠にありがとうございます。「私と日本」をテーマとして話をさせていただきます。

まず、簡単な自己紹介をします。現在、文教大学言語文化研究科博士後期課程3年生に在籍しており、貴クラブにお世話になったシリングワさんと同じ研究室です。研究テーマは「張我軍と日本語教育—1930年代、1940年代の中国大陆における「日本国籍」台湾人による日本語教育」です。2017年4月から米山奨学生に選ばれ、今年で2年目です。世話クラブは春日部西ロータリークラブです。私の故郷は中国の山東省の西南部にある菏泽市の単県という町です。貧乏なところで、「山東省のチベット」と言われたこともあります。

でも、名物としては、牡丹の花と山羊のスープが全国で有名です。

牡丹の中国の国花で、毎年4月に菏泽市では「国際牡丹祭り」が開かれており、全国乃至世界から大勢の人が花見にきています。単県は青山羊の産地なので、山羊のスープがとても美味しいです。単県では、お正月の時、餃子より山羊のスープが定番の正月料理です。



次は私が日本に来る理由について話します。父が地元の高校の日本語教師なので、私は小さい頃から周りの人にいじめられ、「小日本」(シャオリーベン)と呼ばれていました。この言葉は中国人に使われる日本や日本人に対する蔑称です。

当時、抗日ドラマなどの影響で、小さい子供でも日本がまだ敵国だと思っていました。私はずっと高校に入るまでそう呼ばれていたの、日本や日本語に対してけっこう嫌いな気持ちがありました。

しかし、高校に入ってから、そのような日本に対する意識が変わりました。そのきっかけは父の訪日研修です。わたしが高校に入った時、ちょうど父が初めての訪日研修を終えて帰った頃です。その時、父は日本がきれいで、素晴らしい国なので、日本語を勉強して、将来日本に留学しなさいと勧められましたが、私自身が日本語に対して嫌な気持ちを持っていたので、いきなり「日本語を勉強しなさい」と言われても、納得できませんでした。でも、いろいろな事情で、最終的に仕方がなく父が担任したクラスに配られ、日本語を勉強し始めました。勉強し始めると、だんだん日本に対する意識が変わりました。

その時、一番影響を与えてくれたのは、『日語』という日本語教科書です。今までも、まだ印象に残った文章が2篇あります。1篇目は「ソーラーカー」という文章です。当時、私が住んでいる町では、普通の車でもあまり見られませんが、ソーラーカーというものは全然考えられせん。その時、日本はそんなに進んでいる国だとびっくりしました。もう1篇は「将軍と孤児」です。内容としては、戦時中、八路軍の将軍が日本人の孤児を助け、戦争が終わった後日本に帰国させ、その後、その孤児が成人になってから中国に戻ってあの将軍と会ったという話です。その話は実際にあったことなので、非常に感動しました。これまで、あんなに恐ろしい戦争の中でも、こんなに暖かいことがあったと思いませんでした。ですから、中国と日本との関係を改めて考えさせられました。つまり、両国は敵国ではなく、友好的に交流できるのではないかと考えるようになりました。また、その時から、自分が大学に入っても続いて日本語を勉強して、将来日本に留学して自分の目で日本を見たいと決意しました。



その後、地元の大学の日本語科に入りました。2012年7月に卒業してから日本に留学しようと思いましたが、母に強く反対されました。なぜかという、2011年に日本で東日本大震災が起こって、被害状況が中国のテレビで流されたので、母がけっこう心配してくれて、怖かったのです。母が家の財政を握っているので、仕方がなく、とりあえず中国の大学院に進学しようと決めました。その後、大連海事大学の修士課程の日本語翻訳コースに入りました。しかし、日本に留学するのを諦めませんでした。修士号を取ってから、父と一緒に母を説得して、やっと同意してくれました。

2015年4月に、やっと夢が実現して日本に留学してきました。東京のほうに來たいと思っていましたが、費用の関係で最初は比較的に安い北九州の日本語学校に入りました。北九州で半年間、アルバイトをしながら進学先を探していました。

最終的に、現在在籍している文教大学を選びました。その理由はさっきほど話した、高校時代に強く影響を与えてくれたあの日本語教科書とつながります。あの教科書の編集主任は文教大学の加納陸人先生なのです。現在の指導教員でもあります。私はあの教科書の内容の影響を受け、日本のことが好きになりました。将来、そのような日本語教育の力を次世代に伝えたいと思って、加納陸人と連絡しました。縁というものは本当に不思議なものだと思っています。

文教大学に入ってから3年間は本当に勉強になって、豊かな生活でした。特に、ロータリーのおかげで、いろいろな日本の文化や生活を、身をもって体験できるようになりました。私がロータリーを初めて知ったのは、文教大学ロータリーアクトに入ってからのことです。最初の動機は奨学金をもらうためです。しかし、実際にいろいろな活動に参加して、ロータリーやロータリーアクトのことをよく理解できるようになりました。

お金もなく、力が小さい私たちでも社会奉仕ができると感じました。
また、2017 年 4 月に第 2770 地区の RYLA 研修に参加して、鹿児島県の知覧に行ってきました。特攻平和会館を見学した時、当時の若い兵士たちが書いた手紙などを見て、戦争の恐ろしさを改めて感じ、戦争に勝者はいないということが分かりました。

中国と日本との間には、昔戦争がありましたが、今後はそんなに恐ろしいことを 2 度と繰り返さないように、皆様と一緒に努力したいと思います。そして、米山奨学生に選ばれた後、1 年間ぐらいいやっていた花屋でのアルバイトをやめ、研究のことに専念できるようになりました。

また、世話クラブの例会や親睦旅行などにも参加したり、カウンセラーに誘われて一緒に旅行や食事などをしたりしています。世話クラブやカウンセラーのおかげで、普段あまり触れるチャンスがない日本文化を、実際に体験できるようになりました。

この 1 年間半くらいの米山記念奨学生としての生活で学んだことという、主に 2 つあります。一つは違う文化を持っている奨学生たちと接することができ、文化間の違いを理解して、お互いに文化の違いを尊重し合うことです。もう一つはお互いに助け合う社会を作らなければならないことです。毎年、第 2770 地区の米山奨学生による定番の活動は、敬老の日に老人ホームに行って歌を歌ったり、踊ったりしています。私は既に 2 回参加しました。

毎回参加した時、将来、私が年寄りになって老人ホームに入ったら、だれかの若者が歌を歌ってくれるだろうと思います。つまり、社会奉仕というものは、他人のためではなく、自分のためになります。これらの活動は社会奉仕というより、お互いに助け合う社会を作ることです。私の感じとしては、日本はお互いに助け合う国だからこそ、住みやすい国になりました。

将来、私は中国に帰って大学の日本語教師になります。私の人生を変えた日本語教育の力を次世代に伝えようと思っています。また、米山奨学生として学んだことや、真実の日本を 1 人でも多くの中国の若者たちに伝え、両国の末永くの平和のために努力したいと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。



草加松原ロータリークラブの皆様へ

国際ロータリー第 2770 地区
米山記念奨学増進委員長 宗像 英明様
(大宮南 RC)

日頃より草加松原 RC の皆様には、米山記念奨学事業に対し、ご理解・ご協力と貴重なご寄付を頂戴し、委員会を代表しまして御礼申し上げます。本日は卓話にお招きいただきありがとうございます。

本年度米山記念所医学部門では、三国パストガバナーを担当諮問に迎え、吉田耕之部門委員長を筆頭に私が委員長を務めます増進委員会 6 名、小林達郎委員長を中心とした学友・選考委員会 7 名、この 2 つの委員会を組織し、合計 14 名で 1 年間活動を行っております。

東部文の目的は、一つとして寄付の増進を図ることです。なぜ寄付の増進をしなくてはならないのか？2770 地区現在 73 クラブです。しかし学生受け入れ希望クラブは 50 クラブを超えます。本年新規学生 26 名、継続学生を合わせて 35 名ですから、希望クラブの 5 割強しか受け入れできない状況を少しでも向上していきたいと考えます。米山月間と言うのは日本独自のもので 10 月のみだったのですが、2015-16 年度より 3 月も米山月間にいただき、更なる増進を図るための活動をしていく予定です。

貴クラブの皆様には毎年地区目標額 25,000 円を達成すべくご努力をいただき、米山記念奨学事業に対し深いご理解をいただいているものと感謝申し上げます。

米山奨学事業の意義

1999 年から米山奨学生の対象を「救貧型」から「知的貢献型」へと転換し人物の優秀性を重視しています。将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成すること。これはロータリーの目指す『平和と国際理解の推進』そのものです。



地区大会記念チャリティゴルフ

10月15日(月)『地区大会記念ポリオ撲滅チャリティゴルフコンペ』がプレステージカントリークラブにて開催されました。

《当クラブからの参加者》

森 勇一会長 二階堂祐司幹事
会田小弥太会員 木村 博行会員
篠宮 時雄会員 長谷部健一会員
山口 昭人会 横山 正一会員



財団奨学生 高野恭平さんからの便り

大変お世話になっております。奨学生の高野恭平です。

先週ロータリークラブ例会に参加させていただきました写真左側にいらっしゃるのが、Phiさんでリバプール RC のカウンセラーになります。大変良くして頂いています。長谷部様をはじめ、皆様元気にされていらっしゃいますでしょうか。また、何かありましたらご連絡致します。



幹事報告

二階堂祐司幹事

皆さんこんばんは幹事報告です。

* 草加ハーブ国際フェスティバル 2018

11月15日～17日 ハーブコンクール

11月17・18日 メインコンサート

メインコンサートはチケットが必要です。

来場を希望される方はチケットがございますのでお声かけ下さい。

* 昨年度の米山奨学生の錫林高娃さんが皆さんより少し遅れましたが9月30日無事に卒業しました。11月9日には母国に帰国されるという事です。6日には例会に来たいと言っていますが、その日に歓迎会は難しいので日程を調整し企画したいと思います。その際は皆様ご参加を宜しくお願い致します。

10月9日 ニコニコBOX

金額	14,000円	累計	237,000円
10月9日 出席報告			
会員総数	43	出席	15
出席免除	8	MU	5
出席適用	35	出席率	57.14

今後のプログラム

10/23 クラブフォーラム(出席について)

第2会議室

10/30 卓話 ロータリーの友 レセプション

地区代表委員 恵川一成様



森 勇一会長 本日は米山奨学生のカ ホウヒさんようこそいらっしゃいました。卓話を楽しみにして聞かせていただきます。

二階堂祐司幹事 宗像様、カ ホウヒ様、本日はようこそいらっしゃいました。宜しくお願い致します。

会田小弥太会員 米山記念奨学増進委員長、宗像英明様、米山奨学生 賈 鵬飛さん、卓話宜しくお願い致します。

牛山 信康会員 今日は米山の勉強をさせていただきます。宗像委員長、カ ホウヒ君ようこそいらっしゃいました。

大久保雄司会員 孫の1人の就職祝いをしたら、もう1人は遊びすぎで、就職・卒業断念、おい大丈夫か2回目だぞ！

勝浦 雅和会員 カ ホウヒさんお話ありがとうございます。

加藤 芳隆会員 米山奨学生、カ ホウヒさん卓話を宜しくお願いします。楽しみに聞かせてもらいます。

佐々木一男会員 卓話楽しみです。カ ホウヒさん、宗像英明さん宜しくお願い致します。

高橋 昌夫会員 7日(日)運動会でした。暑かったです。朝礼台の上で閉会式の挨拶をしている途中で身体の震えが止まらなくなり立っていただけませんでした。熱中症の一步前だったようです。

山崎 秀美会員 米山奨学生、賈 鵬飛さん卓話よろしく

渡辺美和子会員 6人目の孫が今月誕生しました。

福本 孝昭会員 カ ホウヒさん卓話よろしく宜しくお願いします。

来栖 勝幸会員 カ ホウヒさん卓話よろしく宜しくお願いします。楽しみにしております。今月、結婚の方々おめでとうございます。

横山 正一会員 お世話になります。

ニコニコBOX